

## モニリア病の孢子飛散が始まっており、今後の降雨による感染が懸念されます。気象予報に注意し、適期に防除しましょう。

### 現在の状況

4月6日現在、県中部の定点調査圃場において、孢子を飛散する子実体「生育程度IV型」が確認された(図1)。

また、県内のりんごは平年より早く展葉しており(表1)、今後は降雨(5mm程度)の都度、感染することが懸念される。

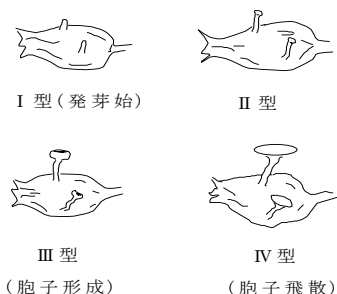


図1 子実体の生育程度

表1 りんごの生育(ふじ・わい性樹)

年次	発芽日	展葉日
本年	3/28	4/3
平年	4/6	4/16
前年	3/27	4/7

※岩手県農業研究センター(北上市)

### 防除対策

- 芽出10日後(展葉期)の葉ぐされ防除
  - ストライド顆粒水和剤やパスポート顆粒水和剤を用いる場合は、降雨前に散布すると効果が高い。
  - ベフラン液剤25を用いる場合は、降雨後に散布すると効果が高い。
  - 多発園では、降雨前、降雨後のどちらに使用しても効果が高いネクスターフロアブルまたはパレード15フロアブルを用いる。
- 治療散布(開花7~10日前防除、開花直前防除)
  - 葉ぐされ病斑が小さいうちに治療効果の高いE B I剤もしくはカナメフロアブルを散布すると花ぐされの発生を防ぐことができる。
  - 開花7~10日前防除と開花直前防除の両方に治療効果の高い薬剤を散布する場合は、展葉期の葉ぐされ防除を省略できる。



図2 葉ぐされの初期病斑



図3 拡大中の病斑

#### 【利用上の注意】

- 本資料は、令和3年3月31日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。
- 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
  - 農薬使用の際は(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

アドレス <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/2003279/index.html>

